じゅんぷう広報誌（季刊）

えがお

第34号
平成28年
9月1日発行

発行元（福）堀川健康会
介護老人保健施設
じゅんぷう広報委員会
平成二十年三月一日創刊

春風駘蕩～風の便り～

当地特有、例年の暑さはもとより、今年はリオデジャネイロからの熱気も加わり、殊のほか厳しい八月でしたね。寝不足の日々を送られた方も、夏バテ解消にお努め下さい。

さて九月になりますと、プロ野球のペナントレースも大阪のはずれで生まれ育った縁から、ご多分に洩れず「〇〇の付く」阪神贔屓ですので、去年は一度だけですが甲子園球場に足を運び、今年も家族のブーイングを尻目に季節限定のちょっとだけ亭主関白（チャンネルの独裁）を宣言し、TV中継に噛りついております。ご存知のように阪神ファンといいますのは摩訶不思議な生き物で、負けが込んでいても、いやむしろ連敗の時ほど盛り上がることができますので、特に今頃は診察室やベッドサイドでも病気の相談そっちのけで、監督気取りの会話に花が咲くこともしばしばです。秋風の中、勝敗の行方にも気が揉める日々です。

暑がれ、早いもので今年もあと三か月です。暮れに向けて何となく気忙（ぜわ）しくなりますが、皆様、是非健やかにお過ごし下さい。

施設長　吉田　巌

相談室よりこんにちは

皆様、福祉避難所はご存知でしょうか。福祉避難所とは一般の避難所（小学校や体育館等）では避難生活が困難な要配慮者の方（高齢者、障害のある方等）が避難する施設です。しかし要配慮者の方が誰でも利用はできません。一般の避難所において、保健師等により介助者の有無や障害の種類、程度に応じて必要性と優先度が判断され利用決定されることになります（要配慮者の方一人に対して介助者一名も避難可能）。要配慮者の方にとって一般の避難所での環境は様々な面で生活に支障が出てくることが予想され福祉避難所の有効な利用が望まれるところです。

（下段に続きます）

厨房コラム

七月の行事食としてご提供させて頂きました「七夕の日のメニュー」、「土用の丑の日のメニュー」、「祇園祭メニュー」をご紹介致します。

夏を代表する食べ物と言えば「そうめん」。毎年ご利用者様からご要望を頂く人気メニューです。七日の七夕の日は、オクラを星に見立てた七夕そうめん、鯛のうに焼きをはじめ、小鉢には冬瓜や茗荷など旬の食材を使用しました。

十五日の宵宵山の日は、京都の夏を代表する鱧を天麩羅に仕上げ、抹茶塩とともにお召し上がり頂きました。

そして、三十日の土用の丑の日には、もちろん鰻丼！日頃食事の進みにくい方々も、この日は早々に完食されたご利用者様から頂いています。今後も、季節を感じ味わって頂くことのできる食事を提供して参ります。

施設の取り組み紹介

～「CSKチーム」の取り組み～

じゅんぷうは福祉避難所として京都市より事前指定されており、平成二十八年九月三日の午前には京都市防災総合訓練の一つとして福祉避難所設置・運営訓練を実施いたしました。京都でも大災害はいつ起こるかわからません。いざという時の為に訓練や日々の防災対策を充実させ、福祉避難所としての役割が果たせるように、ご利用者様の介護・サービス・向上チーム（ケアチーム）について紹介致します。

CSKチームは、ご利用者様の実現に向けて取り組みを行なっています。例えば、「お寿司が食べたい」という組みたい」という通所リハビリテーションでの取り組みの一つであります。

今回は、回転寿司に出掛ける当日までに、外出の計画を立てる階段の昇り降りや、椅子からの立ち上がる為のリハビリを行なう段差昇降が出来るようになってお自宅で取り組まれ、この回数は、ご利用者様の努力の成果もあり、回転寿司にどんな感じ？」という声をお待ちしています。

ご利用者様川柳・俳句

秋満月
さざ波にあり
山にあり

四階　ご利用者K様

見の破る
障子より秋
しのび込む

四階　ご利用者J様

じゅんぷうホームページ　http://www.junepooh.com/